



第169期 中間報告書



平成26年4月1日～平成26年9月30日

北海道ガス株式会社

証券コード：9534





お客様の快適な暮らしと 地域社会の発展に貢献する 「総合エネルギーサービス事業」の実現に向けて

代表取締役社長 大槻 博

Q1 当社グループを取り巻く環境をどのように捉えていますか？

A1 電力の小売事業が2016年から全面自由化となり、ガスの小売事業についても全面自由化を見据えた議論が進むなど、エネルギーを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。また、国のエネルギー政策では、天然ガスは重要なエネルギー源として位置づけられるなど、天然ガスに対する期待は一層高まっています。当社グループは、こうしたエネルギー市場の変化を事業拡大のチャンスと捉え、「総合エネルギーサービス事業」を展開していきます。

Q2 今年度の取り組みについて教えてください。

A2 将来に向けた成長を確かなものとするために、今年度のガス販売量目標の必達に向け、従来の営業活動に加え、昨年導入したお客様接点業務支援システム『LINKS』を最大限活用し、積極的な営業活動を展開するとともに、石狩LNG基地2号タンクの建設やガス導管網の整備・災害防災対策、ならびに営業工事関連システムの再構築など、来るエネルギーの自由化を見据え、ガス事業における基盤整備を着実に進めています。また、今般、電力事業の参入を決定し、準備を進めているところです。

Q3 電力事業の取り組みについてお聞かせください。

A3 一般家庭用向けの電力小売りも含め、電力事業の開始は2016年度を目指し、現在準備を進めています。電源の調達は、本年10月に投資参画した「苫小牧バイオマス発電株式会社」のほか、外部の自家用発電設備からの調達などを検討しています。あわせて、電力ビジネスに関する他企業とのアライアンスについて、検討を開始しました。また、本事業を円滑に立ち上げるため、2015年度からは、自社およびグループ各社の施設に対して、当社グループ所有の発電設備から電力を先行供給する予定です。今後、お客様にとって最適なエネルギーサービスをご利用いただくために、電気とガスと熱を高度に組合わせた付加価値の高い、さまざまなサービスメニューを検討していきます。なお、木質バイオマス発電は、北海道の林地の未利用木材を100%利用しますので、エネルギーの安定供給や環境保全のみならず、北海道における



石狩LNG基地2号タンク建設工事中

林業振興や雇用創出などを通じ、地域社会に貢献していけるものと考えます。

Q4 「総合エネルギーサービス事業」について説明をお願いします。

A4 当社グループが目指す「総合エネルギーサービス事業」は、ひと言で申しますと、「エネルギーと環境のマネジメントによる、快適な社会の創造」です。ガスと電気と熱を単に組み合わせるのではなく、天然ガスの価値を最大限に引き出し、お客様にとって快適かつ省エネルギーでCO₂の削減・抑制につながる、エネルギー・環境マネジメントを目指します。現在は、これらを支える技術やシステムの開発などを、鋭意進めているところです。地球環境問題が深刻さを増すなか、省エネルギーにつながるサービスを通じてCO₂削減に寄与するなど、今後は消費者行動が社会を変えていく仕組みづくりがより重要であり、当社グループに求められる社会的役割でもあると考えています。

Q5 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A5 当社グループは、エネルギーの未来を見据え、地域に根差し、地域社会とともに発展する「総合エネルギーサービス事業」の実現を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しいお客さまのご紹介

日本中央競馬会 札幌競馬場さま/2014.7.26オープン



館内のすべての冷暖房は、3,000馬力のGHP（ガスヒートポンプ）によって行っており、新設されたレストラン・フードコートにはガス厨房をご採用いただきました。

Jファーム苫小牧さま/2014.8.11稼働



本プラントは天然ガスを燃料とし、電気・熱・二酸化炭素を供給する国内初の大規模「ガスエンジン・トリジェネレーションシステム」を利用し、野菜を栽培しています。

札幌三井JPビルディングさま/2014.8.28開業



発電能力700kwのガスコージェネレーションシステムをベースとした地域冷暖房システムをご採用いただき、建物全体の約17%の電力をまかっています。

日本赤十字社北見赤十字病院さま/2014.12.1開院



新病棟の建設と南館の改修による大規模施設整備に際し、空調などの燃料に天然ガスをご採用いただき、本年12月から、新しい施設の運用を開始します。

北海道ガスの
マスコットキャラクター
「てん太」です。
どうぞよろしくお願ひします。



北海道ガスグループは、北海道の明日を支えるエネルギーとして期待される「天然ガス」の普及拡大を軸に、地域から信頼され、地域とともに成長し続ける企業を目指しています。

Point. 1

石狩LNG基地は北海道の重要なエネルギー拠点です

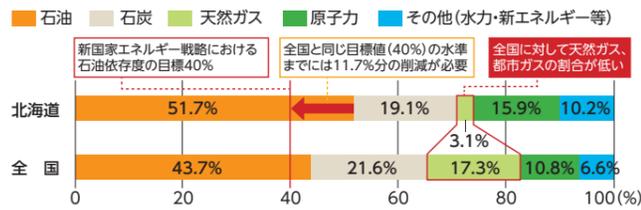
当社では、北海道で唯一の大型LNG（液化天然ガス）輸入基地となる石狩LNG基地において、サハリンやオーストラリア等の海外からLNGを輸入・貯蔵し、将来にわたり天然ガスを全道各地に安定してお届けするための体制を整えています。同基地では、都市ガスを製造しパイプラインを通じて道央圏へ供給するほか、函館・北見などの当社供給エリアや北海道内の各ガス事業者、さらにはガス導管網が整備されていない地区で、サテライト供給により天然ガスをご利用いただいているお客さまへは、LNGローリー車や専用の内航船によりLNGを出荷しています。なお、石狩LNG基地の貯蔵能力は、現在建設中の石狩LNG基地2号タンク完成（2016年9月予定）後は、現在の18万klから38万klに増強されます。

Point. 2

北海道における天然ガスの役割

北海道では冬の暖房や給湯に多くの石油が使われており、一次エネルギーに占める天然ガスの割合は、全国に比べまだまだ低い状況です。だからこそ環境性に優れた天然ガスの普及は、北海道のCO₂排出量を削減させ、地球温暖化の防止や自然環境の保護においても大きな役割を果たします。

● 一次エネルギー供給の構成比（平成22年度）



● 天然ガスのクリーン性（石炭を100とした場合）



Point. 3

天然ガスの普及拡大
～天然ガスセントラルヒーティング～

石油依存度が高い北海道においても、天然ガスの普及が進んでいます。家庭用分野では、家庭用燃料電池「エネファーム」や「コレモ」といった「ガスマイホーム発電」の推進や、他燃料からの切替営業などにより、天然ガスセントラルヒーティングの販売台数が伸びています。特に、新築賃貸集合住宅が好調で、省エネ型ガス給湯暖房システム「エコジョーズ」は、販売累計台数が2万台を突破しました。

● エコジョーズ販売累計台数(台)



Point. 4

天然ガスの普及拡大
～天然ガスの高度利用～



JRタワー



札幌ドーム



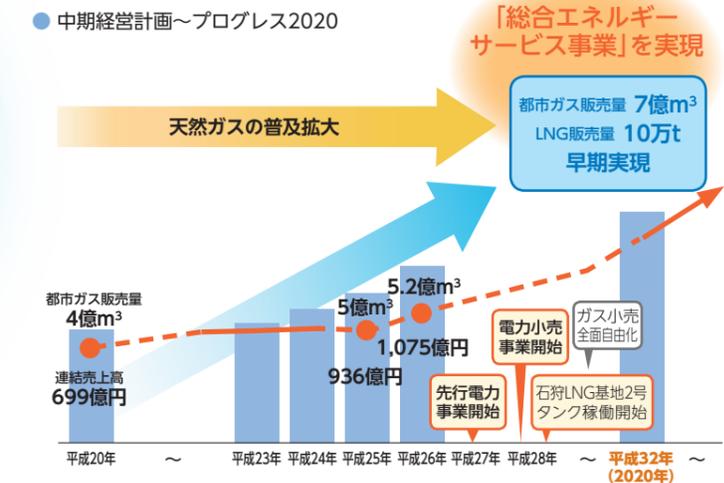
新千歳空港

Point. 5

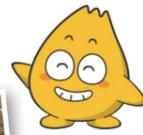
中期経営計画
～プログレス2020～

当社グループは、積雪寒冷地で積み上げてきた事業基盤を活かし、電気とガスと熱を高度に組み合わせ、お客さまにとって最適なエネルギーを提供することで、地域経済の成長と北海道の発展に貢献することのできる「総合エネルギーサービス事業」を目指し、「中期経営計画～プログレス2020」に掲げた目標、年間都市ガス販売量7億m³、年間LNG販売量10万tの早期達成に向け、今後もより一層の経営効率化に努めながら、都市ガス事業基盤のさらなる強化と天然ガスを軸としたエネルギーの高度利用を推進していきます。

● 中期経営計画～プログレス2020



天然ガスはご家庭だけでなく、大規模商業施設をはじめ工場、病院、ホテル、オフィス、店舗、マンションなど、あらゆる分野でご利用いただいています。天然ガスの利用技術で注目されているのが、ガスコージェネレーションシステムです。電気を使うところで発電し、その時に発生する熱を暖房や給湯に有効活用し、エネルギーを最大限にムダなく使うとともに、分散型電源の一つとして、国もその普及を推進しています。身近なところでは、「JRタワー」や「札幌ドーム」、「新千歳空港」など多くの施設で採用されています。



フレアスト創業5周年イベント開催

地域総合チャンネル「北ガスフレアスト」の創業5周年を記念した感謝イベントを7月から9月にかけて、札幌と函館で開催しました。会場では、最新ガス機器の展示・販売のほか、ゲストをお招きしてのステージイベントや縁日コーナーなど、お客さまの日頃のご愛顧へ感謝の気持ちを込めた企画でお迎えし、約11,300名にもものぼる多数のお客さまにご来場をいただきました。北ガスフレアストは今後も地域に密着した、付加価値の高いサービスを提供していきます。



商談風景



元日本ハムファイターズコーチ 吉井理人氏トークショー



石狩LNG基地見学風景

株主さま施設見学会

今年で4回目となる施設見学会は、現在石狩LNG基地2号タンクを建設中の「石狩LNG基地・PRセンター」と「札幌東ビル 技術開発・研修センター」のほか、新たに当社ショールーム「サガティック」を加え、9月に開催しました。「サガティック」では、模擬住宅に設置された新型ガスマイホーム発電「エネファーム」「コレモ」や「エコジョーズ」などのガス機器をご覧いただくとともに、最新ガステーブルとIHクッキングヒーターを、実際の調理やご試食により比較し、最新ガス機器の安全性や優位性などを実感いただきました。



サガティック見学風景



北ガスサイエンスショー



北ガスグループ6時間リレーマラソン in 札幌ドーム



北見盆地まつり



環境広場さっぽろ

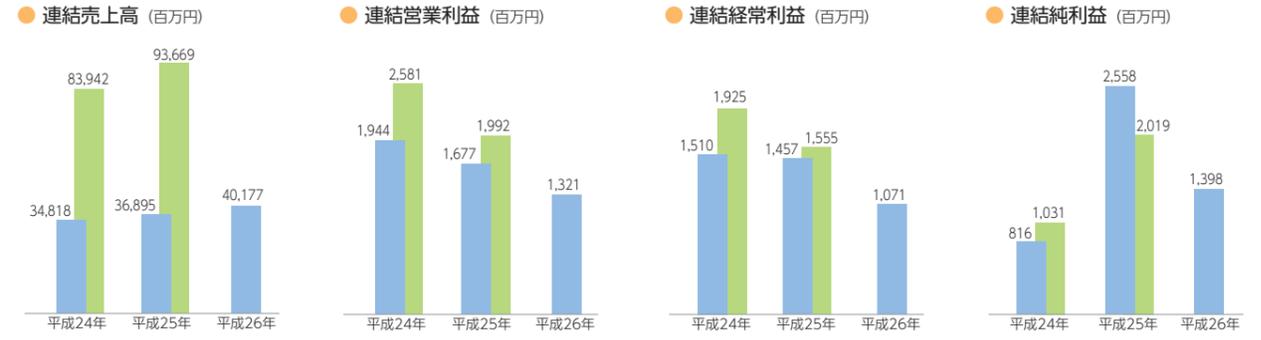
社会貢献活動

当社は地域に根差す企業として、地域と人のつながりを大切に社会貢献活動を幅広く行っています。今年も環境イベント・お祭りなど地域イベントへの参加・協賛や、植樹活動などの環境保全活動、小・中学生向けの出張授業や実験・施設見学プログラムによる環境とエネルギーに関する次世代環境教育支援などを実施しています。今後も地域社会の一員として地域を盛り上げ、環境保全と次世代教育の推進に積極的に取り組んでいきます。

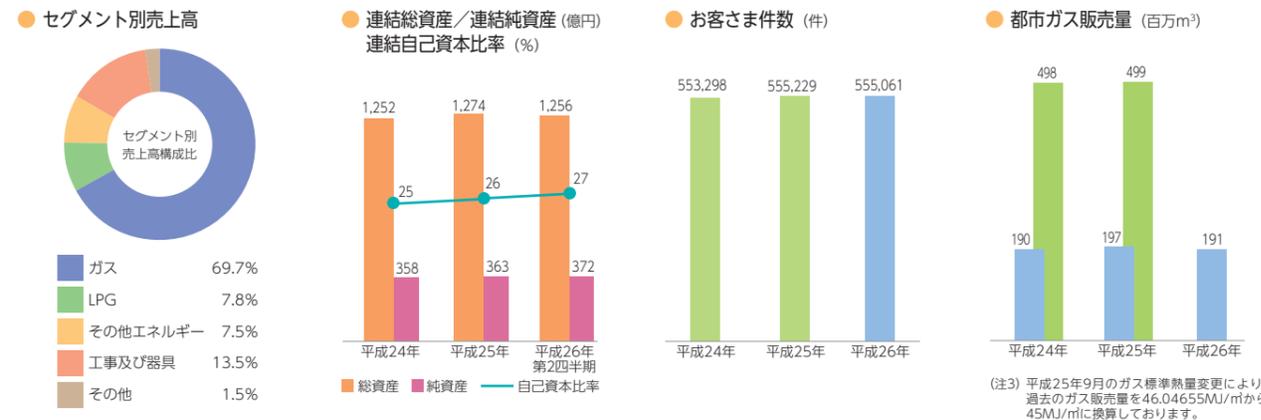
Highlight

業績ハイライト

■ 通期
■ 第2四半期



(注1) 下記のセグメント別売上高には、セグメント間の売上高を含んでおりますが、連結売上高には、これを含んでおりません。
(注2) 平成24年第3四半期連結会計期間より、会計処理を一部変更しておりますため、平成24年第2四半期以降の連結営業利益は、会計処理変更後の数値となっております。



(注3) 平成25年9月のガス標準熱量変更により、過去のガス販売量を46.04655MJ/m³から45MJ/m³に換算しております。

当第2四半期連結決算ポイント解説

石狩LNG基地の稼働により、天然ガスの普及拡大が順調に進んでおり、売上高は増収基調で推移しております。一方費用の面においては、引き続き経営全般にわたる合理化、効率化を進めたものの、LNG価格の上昇による都市ガス原材料費の増加等により、経常利益および純利益は前期に比べ、減益となりました。なお、当社グループの連結業績は、冬季から春先にかけてガスおよびLPG販売の需要が大きく、多くの売上が計上されるという季節的変動要因があります。

より詳細な財務データはこちら [北海道ガス IR](#)

中間配当について

中間配当金につきましては、本年10月29日開催の取締役会において、1株につき4円とすることを決定させていただきました。

ほたてのアクアパッツァ

エネルギー(1人あたり) 104kcal



材料(4人分)

ほたて (殻つき)	4枚
ズッキーニ	1/2本
オリーブ (ブラック・グリーン)	各4個
ミニトマト	4個
乾燥トマト	2枚
にんにく (薄切り)	8枚
塩・こしょう	少々
ケッパー	大さじ1杯
A 白ワイン	40ml
水	適量

- 作り方
- ほたては殻からはずし、ウロとひもを取ります。ひもはきれいに洗い半分に取り切ります。
 - ズッキーニはところどころ皮をむき、5mm幅くらいに切ります。
 - 乾燥トマトは千切りにし、オリーブは半分に取り切ります。
 - ズッキーニ・ミニトマトは網の上のせて、さっと焼きます。
 - ほたての殻にひも・具材・④の野菜・にんにく・ケッパーをのせ、Aをかけ塩・こしょうをして網の上のせて焼きます。

<レシピ監修>北ガスクッキングスクール ほたてはひもを使うと味にコクがでます。ズッキーニ・トマトはさっと焼いてから煮込むと香ばしくなります。トマトの酸味とほたてのうまみでいっそう味が引き立ちます。

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高めることで、当社株式をより多くの方に取得していただき、長期にわたり保有していただくことを目的に、株主優待制度を設けております。

地域に根差す企業グループとして、北海道特産の農産品等を優待品とすることで北海道の基幹産業である農業を支援することにより、地域社会への貢献を図ってまいりたいと考えております。

■ 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上を保有されている株主さま

■ 送付時期

毎年1回、6月初旬の事業報告送付時に、お米券または商品カタログを同封いたします。

■ 優待の内容

保有株数	株主優待品
1,000株以上5,000株未満	お米券(2kg相当)
5,000株以上	下表の北海道特産農産品の中から1つ選択

北海道メロン (1kg×2玉)



トマトジュース ニシパの恋人 (190g×20缶)



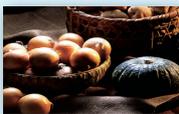
北海道産米 ゆめぴりか・ふっくりんこ 詰め合わせ (2kg×各1袋)



北海道産クローバー蜂蜜(500g×1本)



男爵&玉ねぎ&南瓜詰め合わせ (男爵・玉ねぎ各3kg、南瓜1玉)



札幌の森ジャム×3本ギフト (ハスカップ・ミルク・いちご各130g1本)



味来コーン (10本入)



てんさい糖 (700g×5袋)



※商品は入れ替わる場合があります。

表紙イラスト：佐々木 小世里(ささき こより)

平成4年より新聞、雑誌、広告などで活躍するイラストレーター。主な仕事にJRタワーホテル日航札幌のゲスト用ポストカードなど。北海道新聞生活面で「キラリ！見つけた」(毎週木曜日)連載中。札幌芸術の森美術館企画展「真冬の花畑」参加(平成22年)。著書に「ほっぺおちの旅」(柳亜古と共著)がある。札幌市在住。

本社所在地

札幌市中央区大通西七丁目3番地1

主な事業内容

- ガスの製造・供給および販売
- ガス機器の販売および貸付け等

取締役および監査役

代表取締役社長 大槻 博	社外取締役 野田 雅生
代表取締役 岡崎 哲哉	社外取締役 中上 英俊
取締役 堤 信之	監査役(常勤) 合月 宏
取締役 近藤 清隆	社外監査役(常勤) 緒形 秀樹
取締役 土谷 浩昭	社外監査役 小山 俊幸
取締役 杉岡 正三	

執行役員

社長執行役員 大槻 博	執行役員 梅村 卓司
副社長執行役員 岡崎 哲哉	執行役員 末長 守人
常務執行役員 堤 信之	執行役員 大関 伸二
常務執行役員 近藤 清隆	執行役員 山本 一夫
常務執行役員 土谷 浩昭	執行役員 八木 渉
常務執行役員 佐藤 和夫	執行役員 金沢 明法

株式の状況

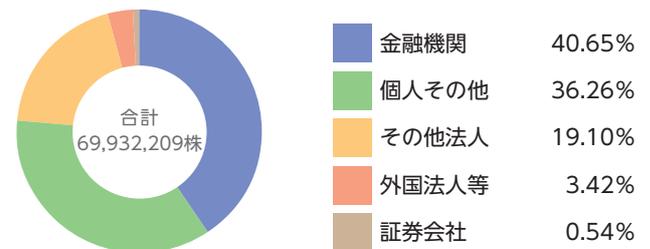
- 資本金 5,058,330,802 円
- 発行可能株式総数 160,000,000 株
- 発行済株式の総数 69,932,209 株(自己株式を含む)
- 総株主数 6,371 名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	5,277	7.60
東京瓦斯株式会社	4,274	6.16
株式会社北海道銀行	3,429	4.94
株式会社北洋銀行	3,427	4.93
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	2,629	3.78
北海道信用農業協同組合連合会	2,475	3.56
札幌市	2,244	3.23
第一生命保険株式会社	1,500	2.16
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.08
北海道瓦斯従業員持株会	1,412	2.03

(注)1. 株主名および持株数は、株主名簿に基づき記載しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(545,940株)を控除して計算しております。

● 所有者別株式数構成比



※本報告書に記載の数値に表示単位未満の端数がある場合、原則としてこれを切り捨てております。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



北の暮らし、もっとできること

北海道ガス株式会社

ホームページアドレス <http://www.hokkaido-gas.co.jp/>